



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社一家ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7127 URL <https://ikka-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武長太郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋広宜 (TEL) 047-316-0561
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,209	11.2	△12	—	△17	—	△9	—
2023年3月期第2四半期	3,786	—	△108	—	△118	—	△93	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △5百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △92百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△1.35	—
2023年3月期第2四半期	△13.99	—

(注) 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、2023年3月期の対前期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,272	947	17.4
2023年3月期	4,767	937	19.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 919百万円 2023年3月期 913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,409	12.3	300	80.3	285	117.0	180	125.3	25.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,115,700株	2023年3月期	7,083,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,092,845株	2023年3月期2Q	6,664,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月13日よりマスク着用のルールが緩和され、5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されたほか、海外からの入国制限が緩和されたことなどにより、徐々に景気回復に向かう動きが見られた一方で、ロシア・ウクライナ情勢、円安進行、原材料費の高騰などの影響が長期化しており、未だ景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響も弱まり全体として外食需要は回復傾向であったものの、原材料費や光熱費等の高騰や人材不足及び採用コストの増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、優秀な人材の確保及びサービス力向上、各ブランドのブランド力向上に注力してまいりました。

飲食事業においては、新規出店、既存店のサービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリなどの会員獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。

そのほか、原材料費の高騰を受け、4月より各業態において一部メニュー価格の改定を行いました。

新規出店・業態変更に関しては、ドミナントエリアへの新規出店（屋台屋博多劇場有楽町店・本厚木店、寿司トおでんにのや本八幡店）及び神奈川県エリアへの新規出店（寿司トおでんにのや横浜店）、肉のウエキ業態の2店舗目（肉のウエキ新木場店）を新規出店したほか、Remo cafe本八幡店を閉店したことにより直営店は合計で78店舗となりました。

その結果、外食需要が回復傾向にあったこともあり、既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態・大衆ジギスカン酒場ラムちゃん業態・にのや業態・韓国屋台ハンサム業態）客数は前年同期比17.9%増となり、既存店客単価は前年同期比2.7%増で推移し、既存店売上高は前年同期比21.0%増となりました。

ブライダル事業においては、近年、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数が減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

また、6月5日より婚礼施設「The Place of Tokyo」のさらなる付加価値の向上を図るため、施設全館を休業して、大型リニューアル工事を実施し、9月9日にリニューアルオープンいたしました。

依然として少人数での挙式のニーズは多い状況ではあるものの、婚礼の組人数・組単価については、コロナ前の水準まで回復してきており、前年同期比で増加いたしました。一方で、休業の影響により婚礼・宴席およびレストラン売上は前年同期比で減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,209,057千円（前年同期比11.2%増）、営業損失は12,527千円（前年同期は営業損失108,174千円）、経常損失は17,786千円（前年同期は経常損失118,868千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は9,548千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失93,211千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は3,684,934千円（前年同期比27.3%増）、セグメント利益（営業利益）は123,409千円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は122,424千円）となりました。

② ブライダル事業

売上高は524,122千円（前年同期比41.1%減）、セグメント損失（営業損失）は147,537千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は5,673千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が193,849千円、売掛金が34,359千円、新規出店等に伴い有形固定資産が244,217千円増加したことなどにより、5,272,389千円（前連結会計年度末比505,266千円の増加）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、1年内返済予定の長期借入金が135,188千円、未払金が51,324千円、長期借入金が198,700千円増加したことなどにより、4,325,236千円（前連結会計年度末比495,758千円の増加）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、減資等により資本金が136,311千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が9,548千円減少したものの、資本金からの振替により資本剰余金が147,987千円増加したことなどにより、947,153千円（前連結会計年度末比9,507千円の増加）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は1,272,925千円（前年同期は984,744千円）となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは101,943千円の収入（前年同期は105,705千円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失17,786千円の計上及び売上債権の増加34,359千円などによる資金の減少が、減価償却費110,766千円の計上及び未払金の増加37,689千円などによる資金の増加を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは241,369千円の支出（前年同期は179,087千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出205,307千円及び投資有価証券の取得による支出30,396千円などによる資金の減少が、差入保証金の回収による収入19,922千円などによる資金の増加を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは330,174千円の収入（前年同期は65,083千円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入740,000千円などによる資金の増加が、長期借入金の返済による支出406,112千円などによる資金の減少を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績が概ね当初計画通りに進捗していることから、2024年3月期の業績予想については、2023年5月15日公表の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,183,763	1,377,613
売掛金	260,614	294,974
その他	178,951	190,062
貸倒引当金	△144	△230
流動資産合計	1,623,185	1,862,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,298,256	2,441,188
減価償却累計額	△856,688	△848,022
建物及び構築物（純額）	1,441,568	1,593,165
その他	890,570	890,208
減価償却累計額	△659,839	△566,857
その他（純額）	230,730	323,351
有形固定資産合計	1,672,299	1,916,517
無形固定資産		
のれん	5,604	4,903
その他	2,512	2,760
無形固定資産合計	8,116	7,663
投資その他の資産		
敷金及び保証金	815,069	804,779
繰延税金資産	374,198	386,092
その他	274,253	294,916
投資その他の資産合計	1,463,521	1,485,789
固定資産合計	3,143,937	3,409,969
資産合計	4,767,123	5,272,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,344	234,847
1年内返済予定の長期借入金	801,408	936,596
未払金	367,453	418,777
未払法人税等	19,916	5,659
資産除去債務	4,908	4,930
その他	239,533	255,301
流動負債合計	1,670,563	1,856,111
固定負債		
長期借入金	1,815,860	2,014,560
資産除去債務	282,871	294,558
その他	60,182	160,006
固定負債合計	2,158,913	2,469,124
負債合計	3,829,477	4,325,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,149	35,838
資本剰余金	1,055,024	1,203,011
利益剰余金	△317,487	△327,036
株主資本合計	909,685	911,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,372	7,485
その他の包括利益累計額合計	3,372	7,485
新株予約権	16,916	20,675
非支配株主持分	7,670	7,179
純資産合計	937,645	947,153
負債純資産合計	4,767,123	5,272,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,786,018	4,209,057
売上原価	1,294,993	1,409,967
売上総利益	2,491,025	2,799,089
販売費及び一般管理費	2,599,199	2,811,617
営業損失(△)	△108,174	△12,527
営業外収益		
助成金収入	5,523	1,350
利子補給金	1,525	1,508
その他	1,394	1,360
営業外収益合計	8,443	4,218
営業外費用		
支払利息	9,126	8,008
支払手数料	9,200	60
その他	811	1,408
営業外費用合計	19,137	9,476
経常損失(△)	△118,868	△17,786
特別損失		
減損損失	8,886	-
固定資産除却損	7,906	-
特別損失合計	16,793	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,661	△17,786
法人税、住民税及び事業税	5,307	5,937
法人税等調整額	△48,565	△13,683
法人税等合計	△43,258	△7,745
四半期純損失(△)	△92,403	△10,040
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	807	△491
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,211	△9,548

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△92,403	△10,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	4,113
その他の包括利益合計	-	4,113
四半期包括利益	△92,403	△5,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,211	△5,435
非支配株主に係る四半期包括利益	807	△491

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△135,661	△17,786
減価償却費	107,496	110,766
長期前払費用償却額	10,765	17,938
減損損失	8,886	-
のれん償却額	700	700
支払利息	9,253	8,008
助成金収入	△5,523	△1,350
売上債権の増減額(△は増加)	△21,536	△34,359
仕入債務の増減額(△は減少)	6,215	△2,497
未払金の増減額(△は減少)	72,898	37,689
その他の資産の増減額(△は増加)	6,254	1,615
その他の負債の増減額(△は減少)	△24,195	△1,491
その他	12,941	2,445
小計	48,497	121,679
利息の支払額	△9,418	△8,633
法人税等の支払額	△4,801	△16,470
補償金の受取額	-	3,821
助成金の受取額	71,136	1,350
その他	291	196
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,705	101,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△182,594	△205,307
投資有価証券の取得による支出	-	△30,396
無形固定資産の取得による支出	-	△610
資産除去債務の履行による支出	-	△6,670
差入保証金の差入による支出	△45,436	△9,632
差入保証金の回収による収入	60,016	19,922
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,280	-
その他	△14,353	△8,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,087	△241,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	530,000	740,000
長期借入金の返済による支出	△464,987	△406,112
株式の発行による収入	504	638
リース債務の返済による支出	△433	△4,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,083	330,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,298	190,748
現金及び現金同等物の期首残高	993,043	1,082,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	984,744	1,272,925

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。